一般財団法人　航空宇宙技術振興財団　中・長期計画案

		2021−2023 中期(3年間)	2024−2026 中期(3年間)	2027−2030 長期(4年間)
事務局 総務部 経企部	法務、財務 労務、人事 規定類整備・管理	全体業務統括、評議員会、理事会等の意思決定会議の統括 法務、財務、労務、人事、規定類の整備・管理業務	宇宙開発における大規模推進系の需要低下に基づく業務量の縮小の方向性 国策研究から民営化へのシフト需要の獲得と、JAXA設備を用いた請負 Slit−Jを用いる航空宇宙分野の境界領域における展開の模索 財団の優位性を活かせる業務展開へのシフト	
	情報、システム基盤維持管理 経営企画／広報／会議開催支援 公益・社会貢献、調査、研究開発	経営計画、広報、情報システム、情報管理、調査研究、社会貢献、各種会議開催・支援	財団を維持発展させるプランの策定 新規事業展開調査、実用化等研究	JAXA受託業務の減少を睨んで、人員配置、雇用計画、経費積算等を行う。 集団としてJAXA技術を継承しながら、同時にSLit−Jを中心とした新たな分野の技術を獲得する技術者集団形成を図る。若年層の技術者を雇用し、技術の連続性を保有する。
事業部(宮城)	設備運転業務委託（請負） 設備維持・保守委託（請負）	JAXA(角田宇宙センター) 宮城地区における収益事業の受託、遂行、管理 新規事業／新規受託事業	宮城地区は、JAXA角田宇宙センター役割の変化から、業務形態も変化 新規業務の展開（放射光等） 従来事業（JAXA角田請負） 従来事業（JAXA角田請負→HESへ業務委託）	HESから業務受託（SLit−J/新規事業）
事業部(東京)	設備運転委託（請負） 調査研究委託（請負） 事務支援業務（派遣）	東京地区における収益事業の受託、遂行、管理	東京地区は派遣事業と請負事業の比率が変化する 新規業務の展開（HESと連携） 従来事業（JAXA東京地区請負） 従来事業（JAXA東京地区派遣事業）	
HES 光エンジニアリングサービス	Profit	設立時：JAXA支援部門兼務	中期　：HESOB5名＋若手5名（含む新人）（JASTへ委託）＋α	長期30名(3億)　(JAST1/HES2)
施設支援事業部	JAXA設備支援	JAXA設備運転／維持／保守作業支援（JAST委託）		Slit−J設備支援が軌道に乗った段階で、東北における放射光設備利用の横断的支援を目指す。Cyric、核理研、山形大学etc.
	SLit−J設備支援	ライン施設支援事業の情報収集	既設放射光施設支援学習 SESによる支援OJT／SLit−J施設へシフト	
分析評価事業部		測定技術・評価・研究手法の熟達	分析・評価コンサルタント&評価（主に地域企業対象）	
プロジェクト運営事業部		研修／セミナー開催、JASTにおける研究成果等を収益プロジェクトで実践	コンサルティング、収益事業（プロジェクト）の実施、支援	
	営業活動			

全体として収益増を狙いながらもJAXA依存度を下げる。